

絶えず、祈りなさい

<今月の聖句>

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。  
(テサロニケの信徒への手紙一 5章16～18節)

上の聖句にあるように

いつも笑顔で楽しそうに喜んでいる人に、できればなりたいと思います。  
どんなささいなことに対しても、ありがとうって感謝できる人もすばらしい。  
「これこそ、イエスさまを通じて、神さまがあなたがたに望んでいることです」と、今日の聖書は伝えます。

上の2つにはさまれた真ん中に、「絶えず祈りなさい」とあります。  
保育園の朝の集まりや誕生会で、小さな手を胸の前に合わせて、目を閉じて神さまありがとうって、お祈りする子どもたちの姿に毎回心うごかされます。とはいえ真ん中の3つ目は、なかなかイメージしづらいかもしれません。だって「絶えず祈り」続けていたら、ご飯も食べられないし、友だちとも遊べない!?

ちなみに、古代の聖書のことばで「絶えず」とは  
しつこい咳に苦しめられている人を表現する際によく使われたそうです。  
今年の想像を絶する暑い夏。体調をくずす子どもも大人も増えています。  
夏風邪などで咳がとまらないとき、私も経験ありますが、しんどいですよね。  
咳が苦しいのは、咳そのものよりも、止まったかと思ったら、また出始め  
それが繰り返し、断続的にやってくる。つまり、咳をしていないときも  
「また、はじまるかも」と絶えず意識し続けねばならない。それが、つらい。

でも、この経験を逆手にとってみてはどうでしょう。  
絶えず苦しみばかり予感し、心がつらくなる時、むしろ、  
「大丈夫、また苦しくなっても、そのときも神さまと一緒にいてくださる」と、神さまを意識するときに変えてみるのです。すると  
見えない手で、今も私の背中をさすってくれている  
やさしい神さまのまなざしに気づくでしょう。喜び、悲しみ、健やか、病…。  
すべてのときが、神さまと出会う喜びの瞬間(とき)であると、気づく。  
絶えず、祈らずにはおれません。

(つくし保育園園長 つだかずお)

<礼拝のご案内>

毎週日曜日 あさ10時30分 だいが教会  
つくし保育園お庭のチャペルの礼拝堂で  
子どもやご家族と一緒に、楽しく明るい礼拝を